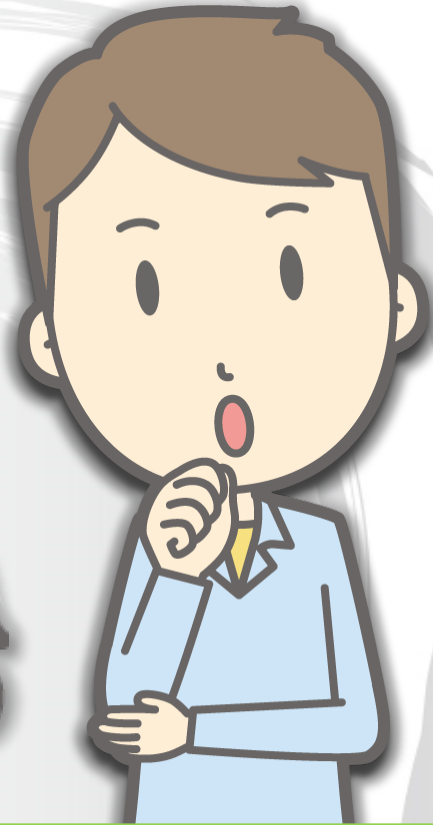


うちは、

少し

違うかも…



～発達障害に対する適切な療育・支援のための研究開発～

11月5日
(土)

12:45～
14:45

日本科学未来館

7階
未来館ホール

最新の研究成果の講演と、有識者によるパネルディスカッションを行います。

* 詳細は裏面をご覧ください。

入場無料



山崎 順子
東京都発達障害者支援センター センター長



熊 仁美
特定非営利活動法人ADDS 共同代表



山野 則子
大阪府立大学大学院 教授



神尾 陽子
国立精神・神経医療研究センター 部長



船曳 康子
京都大学大学院 准教授

サイエンスアゴラ 2016 RISTEX公開シンポジウム

うちの子、少し違うかも…

～発達障害に対する適切な療育・支援のための研究開発～

子どもの発達障害についての最新の研究報告と有識者によるパネルディスカッション。早期発見、療育、家族への支援の大切さについて理解を深めつつ、有識者との対話を通じて一緒に考えてみませんか？

落ち着きがない、こだわりが強い、人見知りが激しい、などで子育てが難しいと感じられる子どもに発達障害があると診断されることがあります。

発達障害は早期に発見し適切な療育を行うことで子どもの将来の可能性が広がり、周囲の支援によりご家族の困難を軽減することが期待できます。

プログラム

12:50～13:35 講演

13:35～14:45 パネルディスカッション

登壇者

- 神尾 陽子** (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 児童・思春期精神保健研究部 部長)
- 船曳 康子** (京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授)
- 山野 則子** (大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 教授/スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長)
- 熊 仁美** (特定非営利活動法人A D D S 共同代表) ※パネルディスカッションモデレーター
- 山崎 順子** (東京都発達障害者支援センター (TOSCA) センター長) ※パネリスト

日時 11月5日 (土)

開場 12:30

開演 12:45～14:45

場所

日本科学未来館 7階
未来館ホール〔A会場〕

入場無料

交通アクセス



新交通ゆりかもめ
「船の科学館駅」東口下車 徒歩5分
「テレコムセンター駅」下車 徒歩4分

東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車 徒歩15分
*東京テレポート駅から日本科学未来館
まで無料巡回バスが約15分おきに運行

※ RISTEXでは、「社会のなかの科学・社会のための科学」の理念のもと、社会の具体的な問題の解決を目指す研究開発を推進しています。

